

福田学園校友会 大学院部会主催研修会

身体活動量から捉える健康支援

～ その活動能力で本当に良いですか？ ～

2025年7月26日(土) 10:00～15:00
(9:30 受付開始)

講師 金居 督之 先生(金沢大学 融合研究域融合科学系 准教授)

- ・理学療法士
- ・保健学博士(神戸大学)
- ・日本神経理学療法学会 戦略的課題解決委員会 脳卒中推進班 副班長



講演 10:00～12:00

身体活動量の意義と最新のトピックス

13:00～15:00

身体活動量評価の導入に向けて～計測と解析レクチャー



会場 大阪保健医療大学 2号館 講堂

大阪府大阪市北区天満1丁目-17-3

(大阪Metro 谷町線 天満橋駅 徒歩10分)

対象 ① 福田学園校友会 正会員(卒業生)・準会員(在学生)

② 2023年度～2025年度に大阪保健医療大学または大阪リハビリテーション専門学校の卒業生が入职した施設のスタッフ

③ 2023年度～2025年度に大阪保健医療大学または大阪リハビリテーション専門学校の実習を受け入れた施設のスタッフ

参加費 正会員・準会員 無料

非会員 500円

申し込み方法

右図のQRコードを読み取り、Peatixから参加申し込みを行ってください。

※Peatixからの申し込みが上手くいかない場合は校友会事務局までメールをお送りください。



日本理学療法士協会 登録理学療法士更新ポイント4ポイント 申請中

本研修会の背景

Society5.0を迎え、多様な幸せの実現や健康寿命の延伸が重要視されています。リハビリテーションにもADLの再獲得だけではなく、生涯にわたる“生きがい”の支援が求められます。しかし、私達が日常的に用いるFIMやTUG、BBSは、“検査場面”における動作遂行能力を評価する指標にすぎず、本当に適切なアウトカムと言えるでしょうか。

近年、入院中や退院後の身体活動量が注目されており、生き生きとした生活を送る方ほど身体活動量が高いと考えられています。また、この身体活動量は疾病予防や重症化予防とも関連することが報告されています。しかし、臨床現場で身体活動量をアウトカムとして計測している施設は少数に留まり、ハード面だけではなく身体活動量の認知度の低さやデータの解析の理解度の低さが原因と考えられます。

そこで、今回は身体活動量に関する研究で有名な金居先生に講師をお願いし、様々な疾患における身体活動量の知見をご提供いただきます。また、臨床現場に普及させるためにも、実際の計測やデータの分析、解釈についてもレクチャーを行っていただく予定にしております。

講演① 10:00 ～ 12:00

テーマ：身体活動量の意義と最新のトピックス

この講演では、健康づくりや疾患の発症・重症化予防における身体活動の重要性について、国内外の最新エビデンスとともに解説します。特にライフコースアプローチの視点から、各ライフステージに応じた身体活動の意義を整理し、健康づくり施策との関連を概観します。

また、近年注目されるモバイルヘルスを活用した実践例を紹介し、療法士が幅広い領域で身体活動促進に果たすべき新たな役割についても展望します。

講演② 13:00 ～ 15:00

テーマ：身体活動量評価の導入に向けて～計測と解析レクチャー

この講演では、身体活動量の計測や解析を現場に導入するための基本的な考え方や技術的なポイントを、脳卒中リハビリテーションなどの実践例を交えて解説します。導入時に直面する他部署との連携や体制づくりの工夫にも触れつつ、後半には簡単な解析演習を行い、データの読み取り方や活用方法のイメージを深めていただきます。

※ 解析レクチャーにはMicrosoft Office Excelを使用します。
ご自身で操作したい方はPCを持参してください。



ご不明な点などございましたら、以下の連絡先にメールをお送りください。

福田学園校友会 事務局 : koyukai@fukuda.ac.jp